

笑顔あふれる地域に・・・

INTERVIEW



村民の店「すまいる」
店長 須藤真紀さん

お客様からは「近くで買い物ができるいい」「地域が明るくなった」などの声をいただいている。皆さんのお声を聞きながら、「お店があってよかった」と言ってもらえるような店づくりをしていきたいと思います。これからは、宅配や移動販売も行っています。「高齢者の足」になれるように努力していきます。

「笑顔が集まる。笑顔でつながる」ようなお店の雰囲気づくりをし、村全体の活性化につなげられるようにしたいです。

スタッフ一同、皆さんのお越しを笑顔でお待ちしております。

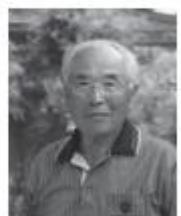
VOICE



藤元良子さん
優雅くん
(赤坂西野字蕨平在住)

図書館で待っている子どもの迎えついでに、お店に入りました。子どもが「お腹がすいた」と言うので、子どものおやつと不足している食材を買いました。

思っていたよりもいろいろな物を売っていて、スーパーが凝縮されたようなお店ですね。



鈴木一良さん
(赤坂中野字新宿在住)

車を運転できないお年寄りにとって、近場で買い物ができるということは、とても助かると思います。

また、買い物をするだけの場所ではなく、休憩スペースを利用してお年寄りがお茶飲みをしたり、イベントを開催したり、交流の場としても使っていきたいです。



1. 食料品から日用雑貨まで、さまざまな商品が並んでいます。2. 誰でも気軽に利用できる休憩スペースは、使い方いろいろ。3. 「すまいる」スタッフの皆さん。お客様が入りやすい雰囲気づくりを心掛けています

買い物弱者支援など
地域活性化につなげる

店内には、商品が並んでいるだけではなく、広い休憩スペースを設けています。放課後の子どもたちが保護者の迎えを待つたり、高齢者世帯などの安否確認やコミュニケーションなどを図り、安心して生活できる環境づくりにも取り組んでいます。

買い物だけではなく
コミュニケーションの場としても

店内には、商品が並んでいるだけではなく、広い休憩スペースを設けています。放課後の子どもたちが保護者の迎えを待つたり、高齢者世帯などの安否確認やコミュニケーションなどを図り、安心して生活できる環境づくりにも取り組んでいます。

村内商店・事業所の減少や高齢者の世帯の増加が進むにつれ、日常の買い物に不便を感じる「買い物弱者」が増えていました。この対策として、村商工会と村では、経済産業省の地域自立型買い物弱者対策支援事業の採択を受け、空き店舗を活用した「村民の店」「すまいる」を開設しました。この店舗は買い物弱者支援はもちろん、店舗内の休憩スペースを利用した地域住民のコミュニケーション再生を促す複合型施設で、新たな雇用の創出

買い物弱者支援、地域や商店の活性化などを目的とした『村民の店「すまいる」』が十一月十日、図書館の隣にオープンしました。コンセプトは「村民の笑顔がみたい・買い物支え・心のお店」。ストリートばかりで、多くの可能性を秘めているお店をご紹介します。

買い物弱者支援など
地域活性化につなげる食料品から日用雑貨
幅広い品ぞろえ

店舗には、食料品から日用雑貨、村の特産品などが並び、幅広い品ぞろえとなっています。商品は、村内の十七商店・事業所と連携し、仕入れを行っています。これにより、既存商店の活性化につなげられるねらいがあります。今後、利用者の要望などを取り入れて品ぞろえを充実させていく予定です。また、店舗販売のほか、宅配や移動販売を十二月中に開始する予定で、既存の移動販売を行う商店



村民の店「すまいる」

- 午前9時～午後7時30分
(12月30日、1月2日は午前9時から
午後6時まで)
■ 毎月第1木曜日
12月31日、1月1日
■ 大字赤坂中野字新宿64番地1
☎ 57-6901 FAX 57-6902